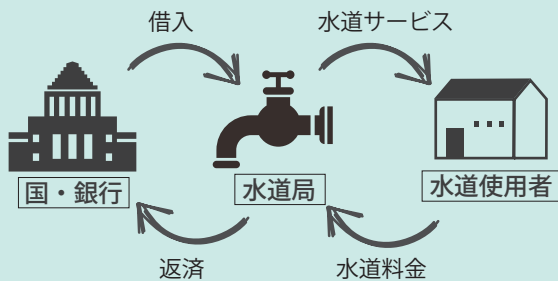


## ✓ 税金は使われていない

水道事業は**独立採算制**を基本としています。そのため事業に必要な費用は、税金ではなく皆さまからの水道料金で賄われています。

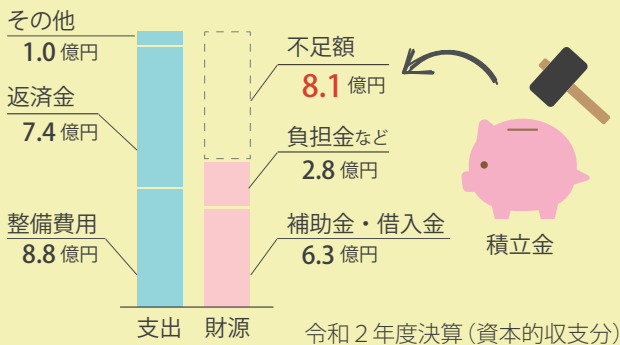


# 水道料金の しくみと これから

6/1 (水) ~ 6/7 (火) は**水道週間**です。今回は「水道料金のしくみとこれから」についてご紹介します。

## ✓ 積立金で補っている

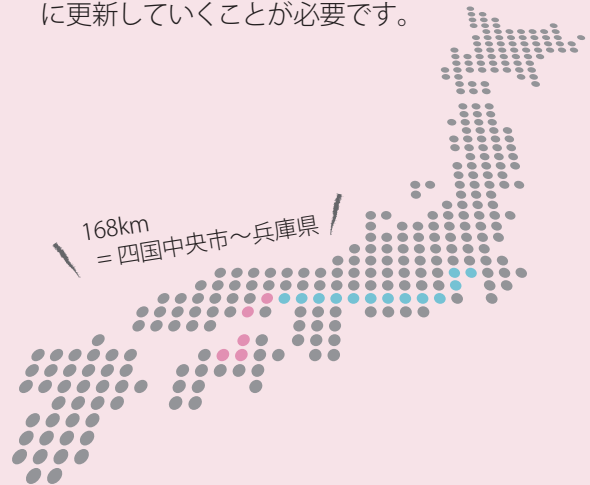
水道施設の整備や更新は、国からの補助金や借入金などを使って行っていますが、返済に伴う不足分については、前年度までの積立金を取り崩して補っています。



## ✓ 水道管の長さは 800km

市内の道路には約 800kmの水道管が埋まっています。これは四国中央市から東京までの距離とほぼ同じ長さです。

現在、そのうちの 21%にあたる 168km が、法定耐用年数の 40 年を過ぎています。すぐに使えなくなることはありませんが、計画的に更新していく必要があります。



おいしい水を届けるために

人口減少や節水型機器の普及などによる水道使用量減少に伴い、水道料金収入は年々減少しています。

これからも安全でおいしい水を安定して供給し続けていくためには、引き続き経営の合理化などの取り組みを進める一方で、水道料金についても、全国の水道事業者同様に見直していくことが求められます。



問い合わせ先  
水道総務課 28-6452